



宮城県職員募集2025

機械

業務紹介

◆ 概要

県有施設の機械設備工事の発注・監督業務
ダム・浄水場などの操作・保守点検、維持管理業務

◆ 勤務先

本庁各課（設備課、管財課、河川課など）

地方機関（ダム事務所、上水道事務所、下水道事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 秋田県大館市
- ◆ 入庁までの経歴 : H25.3 東北学院大学 工学部 卒業
H27.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁１１年目）

H27.4～ **土木部 栗原地方ダム総合事務所 管理第二班**

ダム操作・管理、修繕工事の発注・監督など

H30.4～ **土木部 河川課 ダム整備班**

県ダムに関する予算管理、国費の要求など

R3.4～ **企業局 大崎広域水道事務所 施設管理班**

浄水場の管理、水道管の老朽化対応など

R6.4～ **土木部 設備課 機械設備班**

県有施設に関する機械設備工事の発注・監督など

志望動機

◆ なぜ公務員？

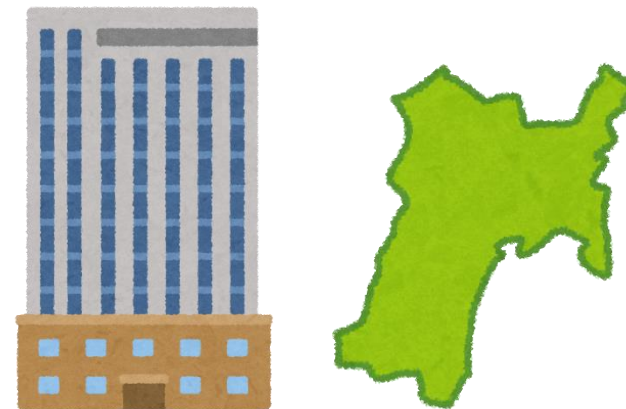
福利厚生が整備されており、将来性があると考えました。



◆ なぜ宮城県庁？

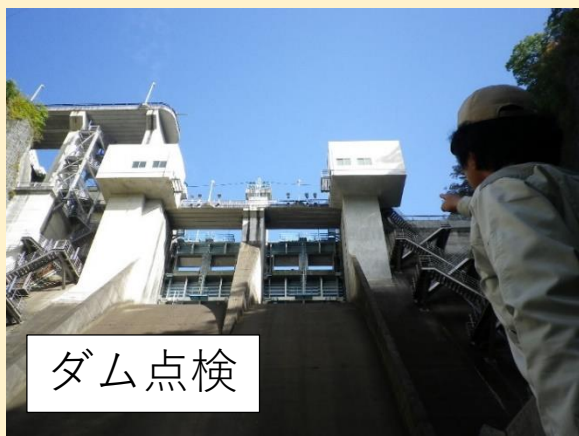
「**県**」という大きな舞台で活躍したいと考えました。

「**県**」というネームバリューに魅力を感じました。



これまでに担当した業務の紹介

25～27歳(ダム事務所)



28～30歳(県庁)



31～33歳(水道事務所)



現在の担当業務の紹介（設備課）



入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

残業が少なそう、楽そう
人との関わり合いが少なそう



◆ 入庁してみたら・・・

配属される部署によって業務量に差がある
所内・対外的な擦り合わせが何より重要



仕事をする上で心がけていること

◆ 公共工事・業務に関するルールを把握しておくこと。

公務で行うもののほぼ全てにルールが定められています。

これを適切に把握することでスムーズに仕事が行えます。



◆ 公務をしているという意識を持つこと。

財源は貴重な税金です。

適切な予算計上・工事発注が大前提となります。



印象に残っている業務



令和4年3月16日地震（松山第2受水池付近の漏水）



平成30年 排水設備 工場検査（福岡）

仕事のやりがい



ダムのゲート操作・点検業務

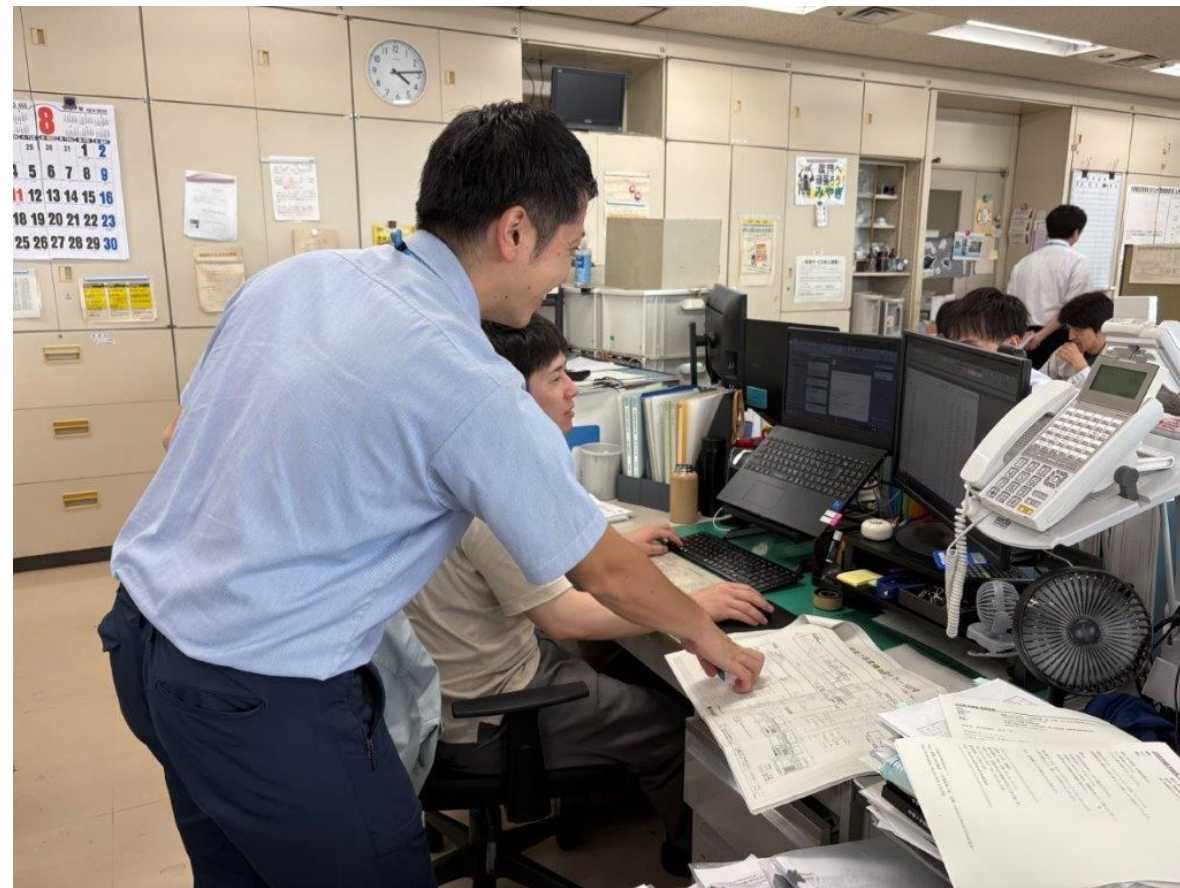


ダム施設見学対応

職場の雰囲気



令和6年度 設備課 機械設備班



普段の仕事の様子

宮城県職員の魅力



壮大な施設と壮大な景色（樽水ダム）



職員同士による業務改善ワーキング（水道事務所）

私の公務員試験対策



◆ 全ての表現をよりポジティブに！

面接官 「昨年、公務員試験を受験しなかったのはなぜですか？」

× 「昨年に受験しても合格する自信がありませんでした」

○ 「昨年は自分磨きのために勉学に専念しました」

面接官 「あなたの考える公務員と民間企業の違いは何ですか？」

△ 「民間企業は営利目的ですが、公務員は福祉のために働くことです」

○ 「サービスという視点において、より多数の県民に貢献できることです」

先輩職員からのメッセージ

◆ 楽な仕事ではありません！ただし…

公務員として働くことは決して楽なことではありません！
むしろ、ルールが複雑で困ったり、辛いことも多いかも知れません。

ただし、それ以上に！県民の生活基盤を支えているという責任感と、多角的な知識・交流は他の職業では得難いものとなります。



あなたのマシナリー(機械職)としての活躍を待っています！